熊 水

Kumamoto

熊本市ＩＲ資料

平成27年 10月 熊本市 財政局 財政課



わくわく親善大使 ： 高良健吾さん

目　次

Ⅰ. 熊本市のプロフィール　・・・　１

■　熊本市の概要　・・・　３
■　熊本市の特色　・・・　４
■　熊本市の産業　・・・　５
■　熊本市の人口動態　・・・　６
■　熊本市への主な評価　・・・　７

Ⅱ. 熊本市の市政運営　・・・　９

■　本市総合計画、地方創生について　・・・１１
■　安心して暮らせるまちづくり　・・・１２
■　ずっと住みたいまちづくり　・・・１３
■　訪れてみたいまちづくり　・・・１５
■　連携中枢都市圏構想の推進　・・・１７
■　行財政改革の実績・成果　・・・１８
■　行財政改革の取組み　・・・１９

Ⅲ. 熊本市の財政状況　・・・２１

■　財政規模（平成27年度当初予算）　・・・２２
■　決算の状況（普通会計 歳入）　・・・２３
■　決算の状況（普通会計 歳出）　・・・２４
■　主な財政指標の状況（平成26年度決算）　・・・２５
■　健全化判断比率の状況　・・・２６
■　市債発行額・公債費・市債残高
　　・プライマリーバランスの状況（普通会計）　・・・２７
■　基金の状況　・・・２８
■　特別会計の状況（平成26年度決算）　・・・２９
■　公営企業会計の状況（平成26年度決算）　・・・３０
■　外郭団体の状況（平成26年度決算）　・・・３１
■　財政の中期見通し　・・・３２
■　平成27年度起債計画　・・・３３



熊本城　天守閣（中央区）

熊本市のプロフィール



夏目漱石内坪井旧居

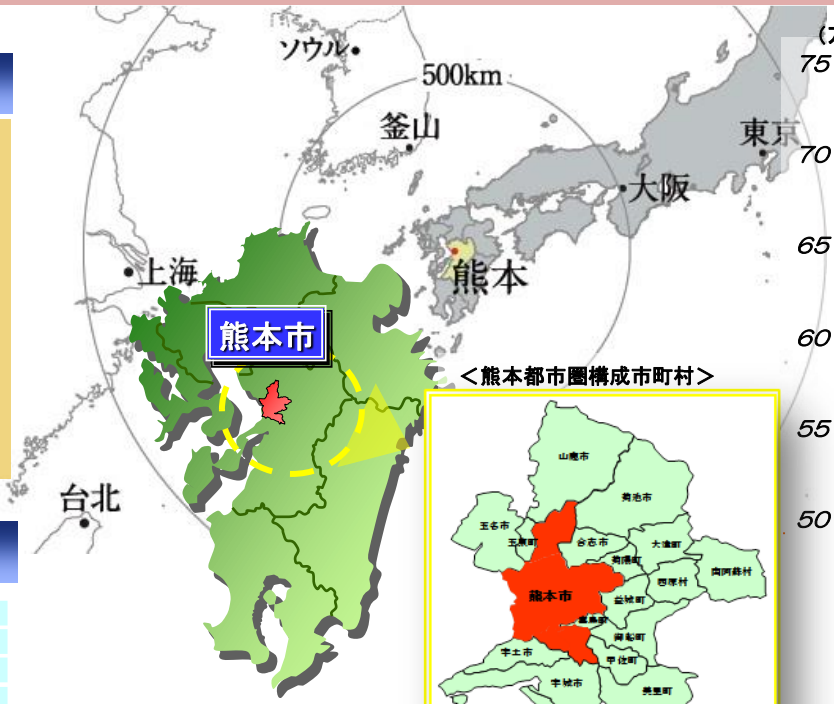
Ⅰ．熊本市のプロフィール

■ 熊本市の概要

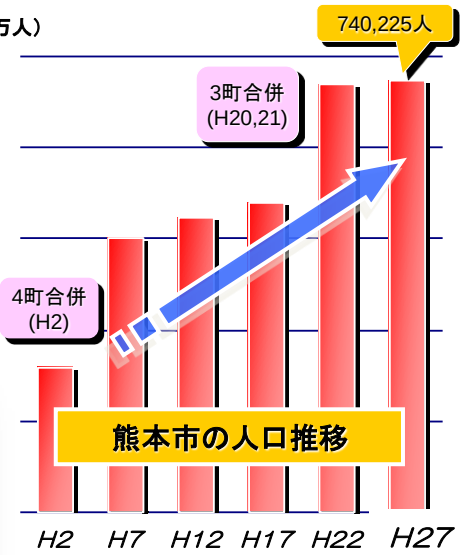
◆ 平成24年4月1日、全国で20番目、九州で3番目の政令指定都市へと移行
◆ 優れた都市環境と豊かな自然環境を併せ持つ魅力ある都市
◆ 熊本都市圏（熊本市への通勤通学が10%以上の周辺市町村で構成）人口は、約125万人

熊本市の基礎データ（H27.8.1）

- 人口　740,225人
  ※熊本都市圏人口　1,252,017人
  （H22国勢調査）
- 面積　390.32平方キロメートル
- 人口密度　1,896人/㎢
- 世帯数　318,149世帯



＜熊本都市圏構成市町村＞



熊本市の沿革

明治22年4月	市町村制が施行され、熊本市が誕生
昭和47年10月	「森の都」を宣言し、森の都作戦を展開
昭和51年3月	「地下水保全都市」を宣言
昭和52年5月	人口が50万人を突破
平成元年4月	市制施行100周年
平成3年2月	飽託郡4町（北部、河内、飽田、天明）と合併 人口が 60万人を突破
平成8年4月	中核市へ移行
平成19年1月	熊本城築城400年祭が始まる
平成20年10月	下益城郡富合町と合併 人口が67万9千人となる
平成21年4月	市制施行120周年
平成22年3月	下益城郡城南町、鹿本郡植木町と合併 人口が73万人となる
平成23年3月	九州新幹線全線開業
平成24年4月	政令指定都市へ移行


熊本県西部に位置する「天草」


夏目漱石「草枕」の峠の茶屋から望む夕陽


熊本県東部に位置する「阿蘇」

Ⅰ．熊本市のプロフィール

■ 熊本市の特色

◆ 九州の中央に位置する地理的優位性（九州各主要都市まで約150分圏内）
◆ 九州の行政の中心として発展し、国の出先機関の立地多数、大学・医療機関が高集積

熊本市内の国の出先機関等

- 九州総合通信局
- 九州農政局
- 九州財務局
- 九州森林管理局
- 九州地方環境事務所
- 陸上自衛隊西部方面総監部　等

安全・安心な都市環境

- 都市圏において、1904年以降震度5以上の地震は発生しておらず、震災リスクが低い
- 台風の上陸が少なく、冬季の落雷も関東、北陸・日本海側に比べて少ない
- こういった災害リスクの低さから、熊本地方合同庁舎B棟が、南海トラフ地震発生時における九州地方の現地災害対策本部の設置に最も適した施設として位置づけられた

教育環境の充実

- 理工系の学部・学科が充実しており、IT・バイオ技術等、多分野において豊富な人材を輩出する学園都市（8大学、1短期大学、27高等学校、44専修学校等）

- 人口1万人当たり大学入学定員　82.3人
（指定都市20市中6位）



女性が暮らしやすいまち

- 働く人に占める女性の割合、全国第３位（都道府県順位）
- 熊本県内の企業や役所の管理職に占める女性の割合、全国第５位
  男女共同参画会議「基本問題・影響調査専門調査会」とりまとめ結果より
- 人口は自然増（出生数－死亡数）を続けており、出生率が高い
  ⇒　子どもを生み育てやすい環境

- 合計特殊出生率：1.50（指定都市20市中2位）
出生率：9.6（指定都市20市中3位）

医療環境の充実

- 医療機関が高集積、医師数・救急隊数の充実
- 内科・外科・小児科の365日24時間診療体制を確立

- 人口10万人当たり医師数　413.3人
（指定都市20市中2位）

Ⅰ．熊本市のプロフィール

■ 熊本市の産業

◆ 清冽で豊富な地下水と大地が育む豊かな農業
◆ 熊本都市圏は、自動車関連企業や電気機器・半導体関連企業が数多く立地する一大集積地

豊かな農水産物

- 農業産出額は、指定都市20市中3位（全国8位）
- なす・すいかは、全国1位の産出額
- みかん・メロンの全国有数の産地

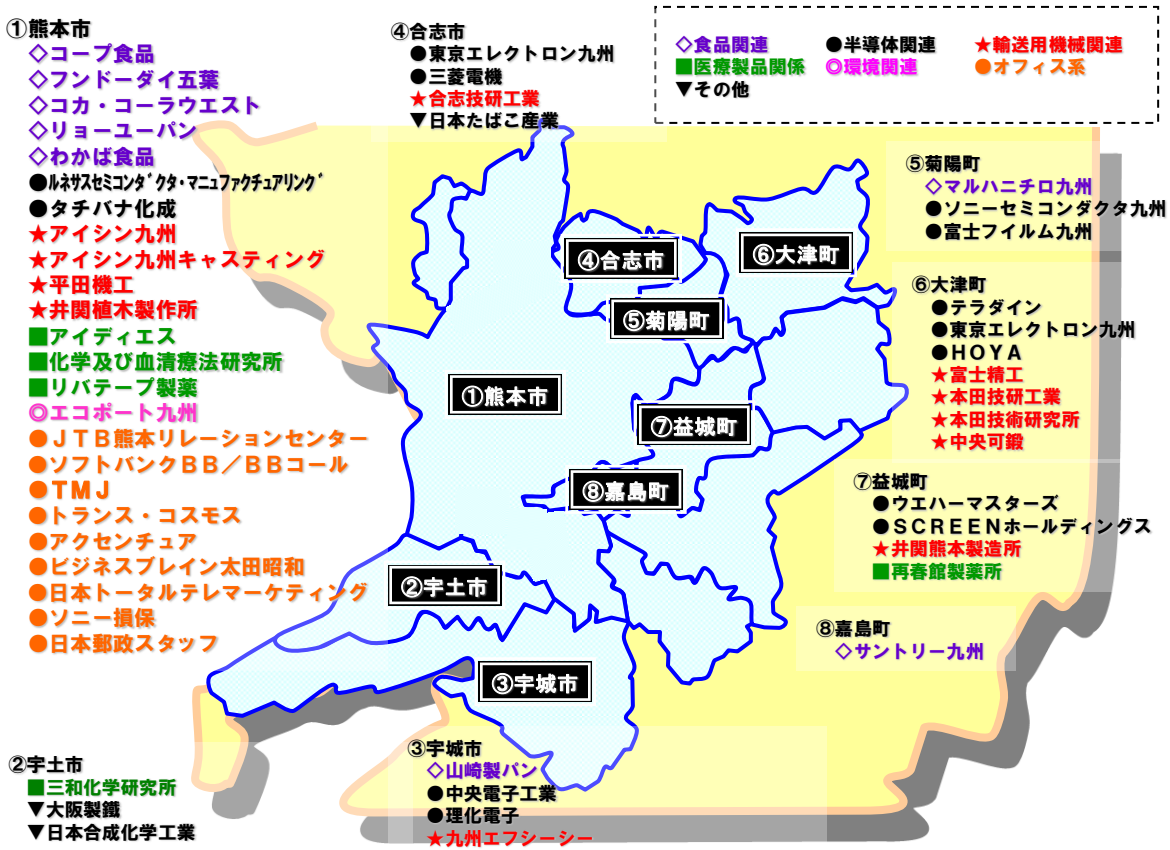


産業別就業者比率

- 第１次産業　3.87%　（ 指定都市20市中2位 ）
- 第２次産業　16.81%　（ 同17位 ）
- 第３次産業　79.32%　（ 同5位 ）

※平成22年国勢調査確定値より

熊本都市圏の主な立地企業



Ⅰ．熊本市のプロフィール

■ 熊本市の人口動態

◆ 現在も人口は増え続けており、若い女性の流入が多い
◆ 年間出生数は7,000人台で推移しており、出生率・合計特殊出生率も高い水準

人口動態の状況　出典：熊本県推計人口調査（各年10月1日時点）

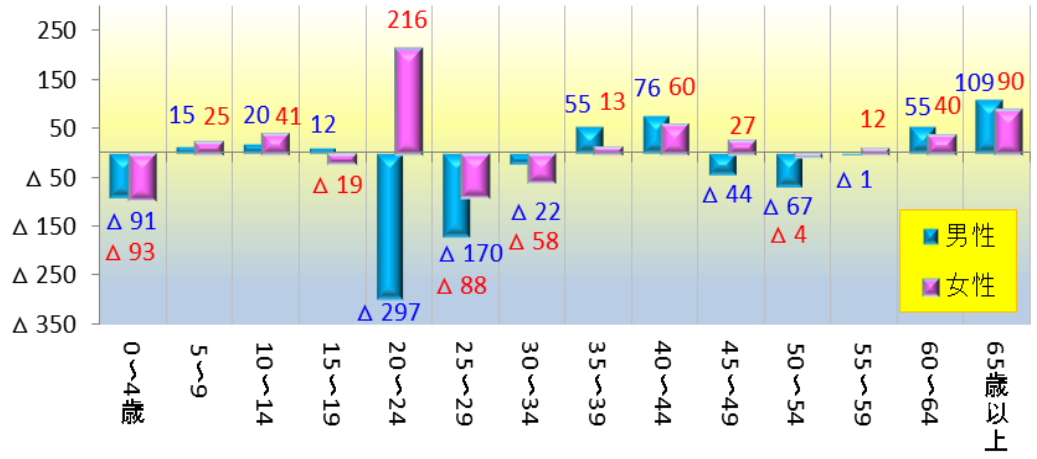
（単位：人）

	H22	H23	H24	H25	H26
人口増減	**1,034**	**1,536**	**1,679**	**1,852**	**663**
自然増減	1,567	796	802	841	700
出生数	**7,403**	**7,093**	**7,158**	**7,364**	**7,066**
死亡数	5,836	6,297	6,356	6,523	6,366
社会増減	**▲ 533**	**740**	**877**	**1,011**	**▲ 37**
転入	27,276	27,735	27,698	44,120	43,028
転出	27,809	26,995	26,821	43,109	43,065

５歳区分別男女別人口増減　（ 社会増減 ）

出典：住民基本台帳人口移動報告
（平成27年4月27日公表）

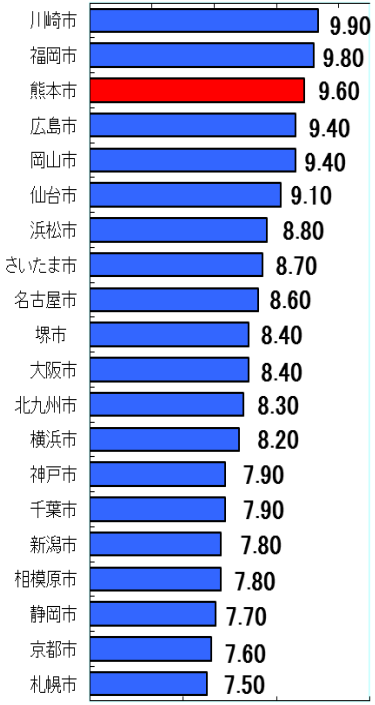
（単位：人）



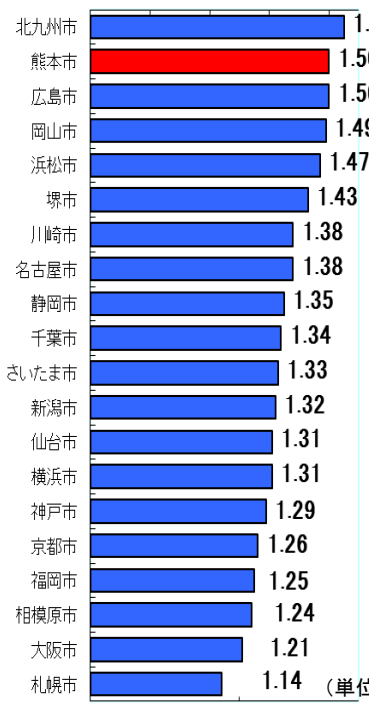
出生率と合計特殊出生率（平成25年度）

● 熊本市は、指定都市において出生率（第３位）、
合計特殊出生率（第２位）と高い水準

＜出生率＞
人口1000人あたりにおける出生数



＜合計特殊出生率＞
一人の女性が一生に産む子供の平均数



（単位：人）

Ⅰ．熊本市のプロフィール

■ 熊本市への主な評価

◆ 「蛇口をひねればミネラルウォーター」。上水道水源100%を地下水でまかなう日本一の地下水都市
◆ 平成25年3月、国連事務局より、2013国連“生命の水（Water for Life）”最優秀賞を日本で初めて受賞。長年にわたる、広域的な地下水保全の取組みについて世界的な評価を受ける

国連“生命の水（Water for Life）”表彰

- 国連事務局が、世界各都市で行われている優れた水管理の取組みを推進するために、特に顕著な取組み事例を2011年から「世界水の日」（3月22日）に表彰
- 2013年は世界46都市から応募があり、本市はこのうち34都市がエントリーしたカテゴリー1「最良の水管理の取組み」の1位に輝く

地下水保全の取組み

- 熊本県知事立会のもと、大津町、南阿蘇村、西原村と「水源かん養林」森林整備協定を締結
- 節水市民運動（1人1日あたりの生活用水使用量230ℓを目標）
- 県及び11市町村と連携し、（公財）くまもと地下水財団を設立



「水源かん養林（100年の森）」協定締結



地下水を育む水田

壮大な阿蘇の「自然のシステム」と、加藤清正はじめ先人の努力による「人の営みのシステム」が絶妙に組み合わさった、熊本の地下水システム。現在の熊本地域の水循環系は約４２０年前に完成したものです。



＜地下水システム図＞



希少動植物の宝庫であり、「水の都熊本市」を実感できる江津湖



湧水量約40万トン（日量）を誇る江津湖（下江津湖）

Ⅰ．熊本市のプロフィール

■ 熊本市への主な評価

- ◆ 熊本城を中心としたまちづくりの取組みが、アジア都市景観賞大賞を受賞
- ◆ “行ってよかった！日本の城”ランキング３年連続で第１位！！
- ◆ アジア初、世界で1,000番目のフェアトレード・シティ認定

アジア都市景観賞

- アジア都市景観賞は、アジアの優れた都市景観の形成に寄与した都市や事業などを表彰する国際賞として、2010年に創設
  アジア人間居住環境協会、国連ハビタット福岡本部、アジア景観デザイン学会、財団法人福岡アジア都市研究所が主催
- 2011年に申請した「熊本城復元整備とまちづくり」について、大賞を受賞

＜熊本城復元整備とまちづくり＞

- 熊本城復元整備の推進や復元整備への特典付寄付（「一口城主」）制度の展開
- 熊本城を生かした街の賑わいの創出
- 熊本城を望む眺望に配慮した景観保全







熊本市の中心部に位置する熊本城

本市最大の観光地、熊本城の魅力向上

- 熊本城の入園者数は10年前と比較して、大幅に増加
  （平成26年度の入園者数163万人、全国5位）
- 世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」が実施するランキング“行ってよかった！日本の城2013～2015”にて３年連続で第１位を獲得
- 熊本城のエントランスにあたる地区に、観光交流施設「桜の馬場城彩苑」を整備



熊本城本丸御殿復元
（昭君之間・大広間）



熊本城本丸御殿での表彰式

行ってよかった！
日本の城ランキング2015

1位	熊本城
2位	松本城
3位	姫路城
4位	松山城
5位	備中松山城

アジア初のフェアトレード・シティ認定

官民協力してフェアトレード製品の推進を行っている都市として認定機関から日本・アジア初、世界で1,000番目の都市として認定。

「フェアトレード」とは
発展途上の国・地域で作られたモノを長期的に、適正価格で購入することで、その国や地域の生活と生産が持続可能になることを目指す、貿易・ビジネス・消費運動や国際協力のこと